

# 涙活

『世界から猫が消えたなら』

[913.6/カ/]

マガジンハウス 川村元気／著

「この世界からひとつだけ何かを消す。その代わりにあなたは1日の命を得ることができる」30歳の郵便配達員は、陽気な悪魔からささやかれ…。

『そして、バトンは渡された』

[913.6/セオ/] 文藝春秋

瀬尾まいこ／著

血の繋がらない親の間をリレーされ、4回も名字が変わった森宮優子、17歳。父親が3人、母親が2人。だけどいつでも両親を愛し、愛されていた。

『52 ヘルツのクジラたち』

[913.6/マチ/]

中央公論新社 町田そのこ／著

自分の人生を家族に搾取されてきた女性・貴瑚と、母に虐待され「ムシ」と呼ばれた少年。裏切られてきた彼らが出会う時、新たな魂の物語が生まれる。

『アルジャーノンに花束を』

[B 933/キ/]

早川書房 ダニエル・キイス／著

幼児なみの知能しかない32歳のチャーリーに、知能向上の手術の話が舞いこみ、白ネズミのアルジャーノンを競争相手に検査を受ける。

『もうじきたべられるぼく』

[E/ハ/] 中央公論新社

はせがわゆうじ／作

「ぼくは牛だから、もうじき食べられる」自分の運命を受け入れた牛は、最後に一目だけ、お母さん牛に会いたくて生まれ育った牧場に行くことにして…。

『はじまりの日』 [E/ロ/]

岩崎書店 ポブ・ディラン／作

毎日がきみのはじまりの日。きょうもあしたも、あたらしいきみのはじまりの日。ポブ・ディランの半世紀の道をたどれる、名曲「フォーエバー・ヤング」の絵本。

## ブックリスト

| 書名                     | 著者       | 出版社        | 請求記号        |
|------------------------|----------|------------|-------------|
| 極上の言葉に涙する夜があってもいいじゃないか | 浅沼道郎／著   | みらいパブリッシング | 159/A/      |
| 涙の音、聞こえたんですが           | 嘉成晴香／[著] | ポプラ社       | 91/カ/       |
| 花束みたいな恋をした             | 坂元裕二／著   | リトルモア      | 912.7/サ/    |
| 僕は何度でも、きみに初めての恋をする。    | 沖田円／著    | スターツ出版     | 913.6/オキ/   |
| 余命10年                  | 小坂流加／著   | 文芸社        | 913.6/コサ/   |
| あの花が咲く丘で、君とまた出会えたら。    | 汐見夏衛／著   | スターツ出版     | B 913.6/シオ/ |
| あの星が降る丘で、君とまた会いたい。     | 汐見夏衛／著   | スターツ出版     | B 913.6/シオ/ |
| ぼくは明日、昨日のきみとデートする      | 七月隆文／著   | 宝島社        | B 913.6/ナナ/ |

今回は「涙活」特集です。「感動の涙」は劣化した心の修復に効くそうです。たまには心をいやす読書をしてみませんか？

